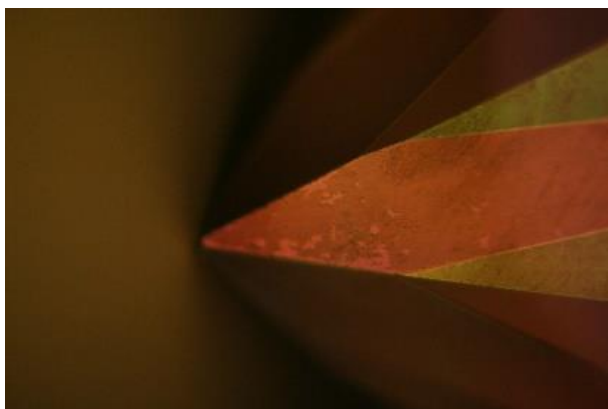


コーティング処理されたダイヤモンド

ダイヤモンドに比較的容易に色を付けることが出来る処理にコーティングがある。これは天然ダイヤモンドのパビリオン側に人為的にピンク色の被膜を付けたものである。

干渉微分顕微鏡で表面を拡大検査するとコーティングの被膜の痕跡（写真1）が明瞭に観察される。

コーティングされたピンクのダイヤモンド（写真2）は熱や直接パビリオン側にバフをかけると被膜が取れてしまうため加工には注意が必要である。



（写真1）干渉微分顕微鏡で観察したコーティング被膜の痕跡

Photo by Ikuo Atsumi



（写真2）

Photo by Ikuo Atsumi

文：渥美郁男